社会福祉法人三島市社会福祉協議会

令和６年度事業報告書

少子・高齢化社会が急激に進む中、家族形態や地域社会が大きく変化し今後も確実に人口の減少が見込まれ、生産年齢人口も継続的に減少することから、従来の制度のままでは多くの問題が生じることが予測されます。生活様式の変化とともに、核家族の増加や近隣住民同士の関係の希薄化、地域社会への関心の低下など、住民意識も大きく変化しており、地域で支え合う機能が弱まる中で生活課題や福祉ニーズは増大し、その内容は複雑化・多様化しています。

海外に目を向けても戦争状態や紛争地域の拡大による国際問題も大きく影響を与えています。世界的な物価上昇や円安による影響などさらにここにきて米の価格高騰が住民の生活に大きな影響を与え、経済生活に問題が起きた一年であったと思います。

国では、このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向け、施策の検討・実施が進められてきました。

三島市社会福祉協議会では、第 4 次三島市地域福祉活動計画に掲げた様々な取り組みを着実に実施するとともに、社協活動に対する市民の理解を深め、より多くの皆さまにご協力して頂けるように分かりやすい情報発信に努め、「地域福祉の推進を図ることを目的」と位置付けられた社会福祉協議会の「公共性」と、民間組織としての「自主性」という 2 つの側面を併せ持つ組織力を活かし、地域住民やボランティア、福祉・保健などの関係者、行政機関などとの連携により、「市民の誰もが安心して、自分らしく、いきいきと、自立した生活ができる地域社会の実現」を目指し、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底する中、いかに様々な地域福祉活動を立ち止まらずに推進していくかを模索しながら、各種事業・活動を展開させてまいりました。

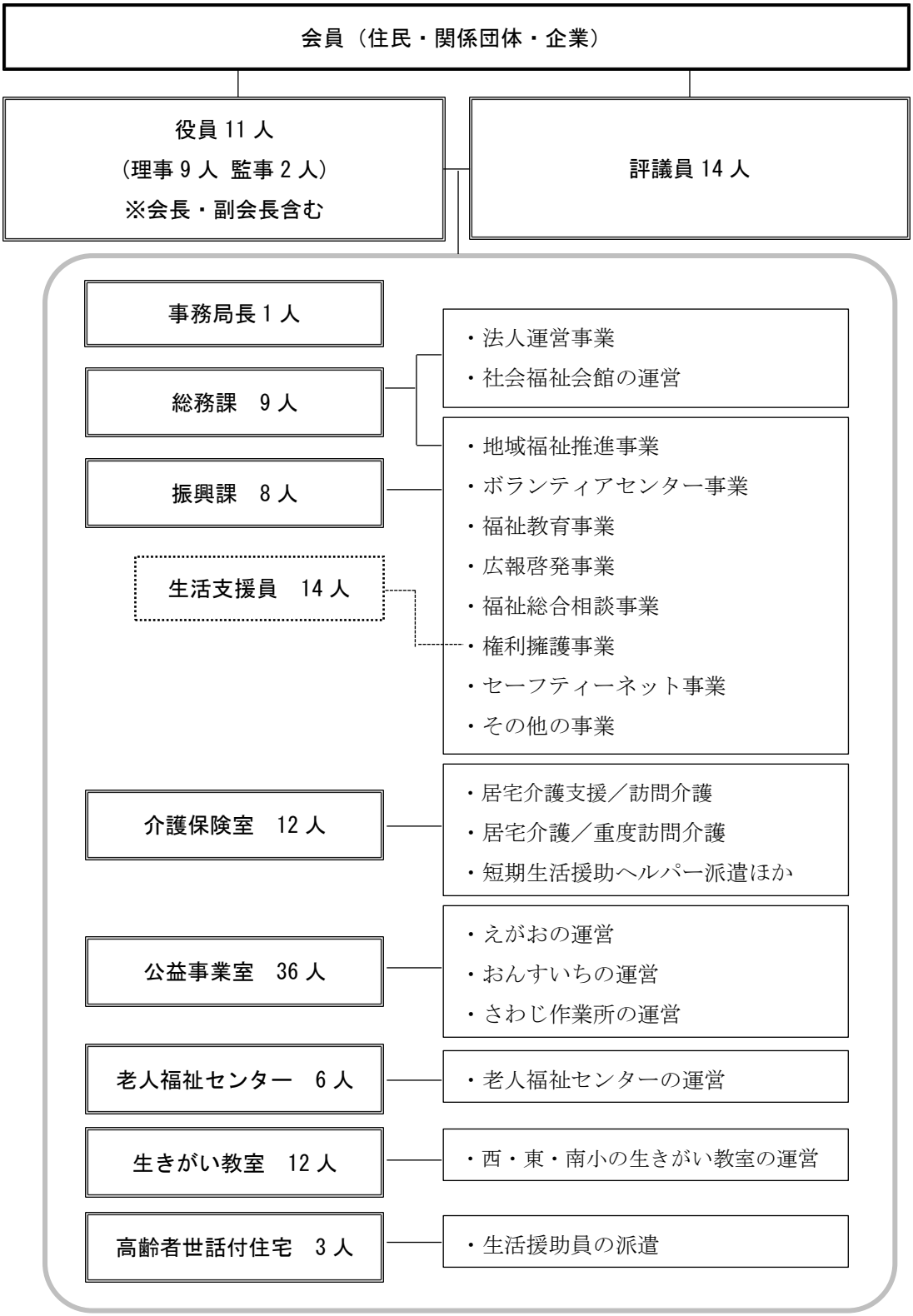
以下、各事業の推進状況等について報告いたします。

Ⅰ　重点項目

1	地域福祉活動計画の推進
2	福祉に関する意識の醸成
3	地域の担い手づくりとネットワーク
4	分野を横断した相談支援体制づくり
5	権利擁護体制の構築

Ⅱ　組織構成と事業体型図

（令和 7 年 3 月 31 日現在）



Ⅲ　実施事業報告

１　法人運営事業

（１）組織運営のための会議等の開催

本会の定款に基づき、法人運営に必要な「理事会」、「評議員会」、「監事監査」を開催しました。

①理事会の開催状況

開催日	議題等
令和６年 ６月 11 日(火)	・令和５年度三島市社会福祉協議会事業報告(案)について ・令和５年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定(案)について ・令和６年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・定時評議員会の招集(案)について
令和６年 ９月 13 日(金)	・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・三島市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所の運営規程の一部を改正する規程(案)について ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく居宅介護事業所運営規程(居宅介護及び重度訪問介護)の一部を改正する規程(案)について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定生活介護事業所おんすいち運営規程の一部を改正する規程(案)について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定就労継続支援(Ｂ型)事業所さわじ作業所運営規程の一部を改正する規程(案)について ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会指定生活介護事業所えがお運営規程の一部を改正する規程(案)について ・令和６年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和６年度三島市社会福祉協議会社会福祉大会における三島市社会福祉協議会会長表彰(案)について ・評議員会の招集(案)について
令和７年 ３月 18 日(火)	・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・社会福祉法人三島市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部を改正する規程(案)について ・令和６年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和７年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和７年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について ・評議員会の招集(案)について

②評議員会の開催状況

開催日	議題等
令和６年 ６月 28 日(金)	・令和５年度三島市社会福祉協議会事業報告(案)について ・令和５年度三島市社会福祉協議会資金収支決算認定(案)について ・令和６年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について
令和６年 ９月 24 日(火)	・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・令和６年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について

令和７年 ３月 27 日(木)	・会長及び常務理事の職務執行状況の報告 ・令和６年度三島市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について ・令和７年度三島市社会福祉協議会事業計画(案)について ・令和７年度三島市社会福祉協議会資金収支予算(案)について

③監事監査の開催状況

開催日	議題等
令和６年 ５月 27 日(月)	令和５年度事業及び決算の監査
令和６年 11 月 14 日(木)	令和６年度中間監査

④その他会議の開催状況

開催日	会議名・議題
令和６年 ９月４日(水)	正・副会長会 ・令和６年度三島市社会福祉協議会社会福祉大会における三島市社会福祉協議会会長表彰の被表彰者の選考について

（２）会費の状況

区　分	当年度		前年度	
	件数	金額	件数	金額
住民会費 (1 世帯 200 円)	39,923 件	6,908,200 円	40,093 件	6,906,500 円
団体会費 (1 口 1,000 円以上)	49 件	122,000 円	45 件	105,000 円
賛助会費 (1 口 1,000 円以上)	193 件	337,000 円	197 件	360,000 円
合　計	40,165 件	7,367,200 円	40,335 件	7,371,500 円

（３）寄附金の状況

区　分		当年度		前年度	
		件数	金額	件数	金額
一般寄附金	法人運営拠点区分	16 件	437,997 円	16 件	1,354,742 円
	えがお拠点区分	6 件	121,878 円	8 件	158,439 円

	さわじ作業所拠点区分	5 件	60,000 円	10 件	150,000 円
	おんすいち拠点区分	7 件	70,000 円	8 件	121,468 円
合　計		34 件	689,875 円	42 件	1,784,649 円

（４）社会福祉振興基金及び社会福祉整備積立金等の状況

退職給与積立金は 5 名の退職に伴い 14,004,680 円を取り崩し、年度末必要額まで 13,864,640 円を積み立て 105,428,760 円となり、そのほか資金運用積立金、施設整備積立金をあわせて、積立金等累計額は 823,117,192 円となりました。

基金等種類	前年度末積立金	本年度積立金（上段） 本年度取崩額（下段）	積立金累計額
社会福祉 振興基金	542,843,383 円	0 円 0 円	542,843,383 円
社会福祉 整備積立金	136,196,713 円	0 円 0 円	136,196,713 円
退職給与 積立金	105,568,800 円	13,864,640 円 14,004,680 円	105,428,760 円
資金運用 積立金	38,148,336 円	0 円 0 円	38,148,336 円
施設整備 積立金	500,000 円	0 円 0 円	500,000 円
合計	823,257,232 円	13,864,640 円 14,004,680 円	823,117,192 円

２　地域福祉推進事業

（１）地域福祉活動計画

①地域福祉活動計画の周知

「地域福祉活動計画」とは、市町行政が策定した「地域福祉計画」と連携し、住民及び福祉関係団体や事業者などが地域福祉の推進に主体的にかかわるために市町社協が中心となって策定する具体的な活動計画です。三島市社協では、福祉を取り巻く環境が大きく変化する中、時代の要請に応じた地域福祉の取組を進めるために、令和３年３月に策定した令和３年４月から令和８年３月までの５ヶ年を計画期間とする「第４次三島市地域福祉活動計画」について、昨年度に引き続き、

本計画の周知・啓発を図るため、福祉関係団体を対象とした会議や地域住民を対象とした講座等において内容を説明・紹介するほか、誰もが閲覧できるように、活動計画とわかりやすくまとめた概要版の２種類を本会ホームページからダウンロードできるようにしました。

②第５次地域福祉活動計画の策定

行政計画である第５次三島市地域福祉計画を策定する業者「株式会社サーベイリサーチセンター」と業務委託契約を締結し、第５次地域福祉活動計画の策定に向け、地域活動への参加状況や日常生活で感じていることなどの意見を把握し、基礎資料とすることを目的にアンケート調査を実施したほか、現行計画の検証を行いました。

（２）小地域福祉活動リーダー・福祉の担い手等の養成

住民主体の地域福祉活動を進めていくため、福祉の担い手養成に取り組みました。

①令和６年度ノルディックウォークでいきいきボランティア講座

開催場所：錦田公民館

開 催 日	内　　容	参加者
令和６年５月 24 日（金）	声かけ見守りの必要性 ノルディックウォークの実技	20 名

②令和６年度声かけ支援活動者養成講座＆ノルディックウォーク

開催場所：旭ヶ丘集会所、旭ヶ丘公園及びその周辺

開 催 日	内　　容	参加者
令和６年 10 月 31 日（木）	声かけ支援活動養成事業について ノルディックウォークの基礎	20 名
令和６年 11 月 14 日（木）	ノルディックウォークの実技	19 名

③声かけ見守りボランティア「おたすけアルク」の支援及び市内独居高齢者宅への声かけ見守り訪問活動

声かけ見守り活動の拡充を図るため、上記ボランティアと定期的な打ち合わせを行うほか、地域包括支援センターと連携して、市内で声かけ見守りが必要な方を対象に上記ボランティア派遣しましたが、おたすけアルク会員の退会や、利用者の増加が見込めず、令和６年３月 31 日をもち、廃止となりました。

代わりに、利用されていた方への支援として、「おたすけアルク」として訪問するのではなく、個人ボランティアとして、しばらく訪問継続となりました。

利用者数	備　　考
3名	訪問頻度は概ね週1回。ボランティア2名で対応。 小雨程度であれば決行。 3名の内1名は、おたすけアルクメンバーの調整が難しく、訪問中止となる。

（3）生活支援コーディネーター業務

日常生活において、支援を必要とする高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続できるよう、第2層生活支援コーディネーターとして高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備に取り組みました。

①三島市及び第1層生活支援コーディネーターとの打合せ会

日　　付	
令和6年4月10日(水)	令和6年10月10日(木)
令和6年5月9日(木)	令和6年11月14日(木)
令和6年6月10日(月)	令和6年12月10日(火)
令和6年7月10日(水)	令和7年1月10日(金)
令和6年8月9日(金)	令和7年2月10日(月)
令和6年9月9日(月)	令和7年3月10日(月)

②各関係会議参加による地域の福祉課題と社会資源の把握

ア．介護予防・生活支援体制整備推進協議会に参加

日　　付	
令和6年6月26日(水)	令和7年3月5日(水)

イ．自立支援サポート会議に参加

日　　付	
令和6年5月22日(水)	令和6年11月22日(金)
令和6年6月21日(金)	令和6年12月25日(水)
令和6年7月23日(火)	令和7年1月15日(水)
令和6年8月13日(火)	令和7年2月27日(木)
令和6年9月20日(金)	令和7年3月18日(火)
令和6年10月30日(水)	－

（４）居場所・サロンの支援

地域における互助の振興を目的に、住民主体による居場所・サロン活動の立ち上げ・運営継続のための支援に取り組みました。

①居場所・サロン等の登録状況

ア．居場所・サロン

No.	名　　称	地　　区	
1	井戸端会議	北上	光ヶ丘
2	木曜サロン	北上	徳倉
3	歩歩笑サロン	北上	光ヶ丘
4	富士ビレッジコミュニティサロン「ほっとカフェ」	北上	富士ビレッジ
5	介護予防カトレア体操	北上	芙蓉台
6	芙蓉台自治会による居場所	北上	芙蓉台
7	たまりば・一休	北上	富士ビレッジ
8	たまりば・かど	北上	富士ビレッジ
9	コミュニティースペース・ジモット	北上	徳倉
10	居場所 101	北上	光ヶ丘
11	沢地遊和会	北上	沢地
12	富士見台サロン	北上	富士見台
13	憩いのクラブ	北上	佐野
14	ちょっくらカフェ	三島南	西本町
15	シャルマンカフェ	三島北	加茂川町
16	サロン大宮	三島北	大宮町
17	さくらサロン	三島北	加茂
18	南二日町サロン	三島南	南二日町
19	コミュニティカフェ悠遊	三島北	若松町
20	ひなたぼっこの会	三島南	大社町
21	にこにこ会	三島南	南田町
22	加茂喜楽会	三島北	加茂
23	三島市健康まあじゃん同好会	三島北	一番町
24	居場所太陽	三島南	栄町
25	居場所カフェ・カワバタ	三島南	南本町

26	みしまるっとクラブ	三島南	南本町
27	山ぶどう	錦田	並木
28	Welcome サロン三恵台	錦田	三恵台
29	旭ヶ丘なかよし体操	錦田	旭ヶ丘
30	旭ヶ丘カフェ	錦田	旭ヶ丘
31	初音台夏すみれ	錦田	初音台
32	喜楽会	錦田	谷田
33	すこやかサロン	錦田	小山押切
34	中区福祉会ひだまりの会	錦田	中
35	中区福祉会健幸サロン	錦田	中
36	夏梅木コミュニティカフェ	錦田	夏梅木
37	コミュニティカフェ安久	中郷	安久
38	ひまわり会	中郷	長伏
39	東大場図書カフェ	中郷	東大場
40	山のサロン	中郷	パサディナ
41	新谷コミュニティカフェ“花笑み”	中郷	新谷
42	サロン松本	中郷	松本
43	多呂サロン	中郷	多呂
44	ラジヨガ７	三島南・ 北上・中郷	南本町・光ヶ丘 ・パサディナ

イ．認知症カフェ

No.	名　　称	地　　区	
1	オレンジほっとカフェきたうえ	北上	萩
2	おれんじほっとサロン	三島南	中央町
3	すまいるカフェ☺錦田	錦田	谷田藤久保
4	ふらっとうめな	中郷	梅名
5	どりかふぇ	三島北	一番町

ウ．地域（子ども）食堂・学習支援、その他児童支援

No.	名　　称	地　　区	
1	三島子育て学習サポート寺子屋	三島南	日の出町
2	みんなのえがおおたまちゃん食堂	北上・錦田・他	萩・谷田・他

3	なとり塾	三島南	西本町
4	のびっこクラブ	三島北	文教町
5	無料学習支援塾　きょうえい塾	三島北	大宮町
6	佐藤塾	三島南	本町
7	One ピース	三島南	東本町
8	りぼーん「大場ハウス」	中郷	大場

②居場所・サロン連絡会

居場所・サロンの連携、情報交換、共有等を図るため連絡会を開催しました。

日　　付	内　　容	参加者
令和 6 年 9 月 6 日(金)	居場所･サロンで実施している活動内容や、課題についての情報交換や共有	24 名
令和 7 年 3 月 11 日(火)	三島市社会福祉協議会に登録しているボランティア団体を利用したことのある居場所･サロンの紹介と、そのボランティア団体の紹介＆披露	30 名

③ボッチャの出張指導、ボッチャ用具の貸出

福祉への理解・関心を深めるきっかけや、地域交流の新たなツールとなるよう、居場所等を対象にボッチャの出張指導や用具を貸し出しました。

日　　付	対　　象	参加者
令和 6 年 8 月 21 日(水)	多呂サロン	35 名
令和 6 年 11 月 15 日(金)	山ぶどう	13 名
令和 6 年 12 月 16 日(月)	なかよし体操	20 名
令和 7 年 2 月 3 日(月)	山ぶどう	15 名
令和 7 年 3 月 12 日(水)	三島地区保護司会	30 名

・用具の貸出件数：20 件

④身近な地域の居場所づくり助成事業

居場所の開設・運営に必要な経費を活動頻度に応じて助成をすることに加え、世代間交流を行う団体に対して助成金1万円を加算し、地域住民間の関係構築の強化を行いました。

名　　称	活動頻度	世代間交流	助成額
ちょっくらカフェ	週1回以上	－	30,000円
中福祉会　健幸サロン	月2回以上	－	20,000円
サロン大宮	月1回以上	○	20,000円
歩歩笑サロン	月1回以上	○	20,000円
初音台夏すみれ	月2回以上	－	20,000円
中福祉会　ひだまりの会	月1回以上	－	10,000円
シャルマンカフェ	月2回以上	○	30,000円
喜楽会	月2回以上	－	20,000円
Welcomeサロン三恵台	週1回以上	○	10,000円
東大場図書カフェ	週1回以上	－	30,000円
憩いのクラブ	月1回以上	－	10,000円
旭ヶ丘なかよし体操	月2回以上		20,000円
ひなたぼっこの会	月2回以上		20,000円
居場所101	週1回以上		30,000円
沢地遊和会	週1回以上	○	40,000円
木曜サロン	週1回以上	○	40,000円
芙蓉台自治会による居場所	月1回以上	○	20,000円
介護予防カトレア体操	月2回以上	－	20,000円
旭ヶ丘カフェ	週1回以上		30,000円
新谷コミュニティカフェ“花笑み”	週1回以上	○	40,000円

▲旭ヶ丘カフェ

▲芙蓉台自治会による居場所

⑤こどもの居場所づくり助成事業

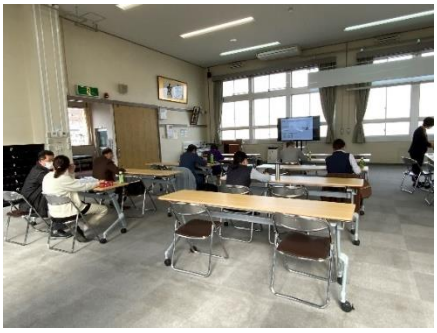
居場所の開設・運営に必要な経費を活動頻度に応じて助成をすることに加え、年間延べ利用者数に応じて助成金の加算をし、子どもたちが安心・安全な時間を過ごせるよう、居場所に支援を行いました。

名　　称	活動頻度	年間延べ利用者数	助成額
なとり塾	月１回以上	100～300 人	25,000 円
三島子育て学習サポート寺子屋	月１回以上	100～300 人	25,000 円

（５）地域支え合い会議（勉強会）の開催

地域住民と共に、地域の困りごとや課題を共有し、解決に向けた取り組みを考えていくため、標記勉強会を市内５地区で開催しました。令和６年度は、「地域のつながり」をテーマに話し合いを行いました。また、この一環として、三島市民生委員・児童委員協議会の協力を得て、市内民生委員・児童委員、主任児童委員を対象に地域のつながりの状況についてアンケート調査を実施しました。

No.	開催地区	日　付	場　　所	参加者
第1回	三島南	令和６年７月 11 日(木)	三島市社会福祉会館	10 名
	三島北	令和６年７月９日(火)	三島市社会福祉会館	５名
	北上	令和６年７月 26 日(金)	北上文化プラザ	７名
	中郷	令和６年７月 24 日(水)	中郷文化プラザ	８名
	錦田	令和６年７月 19 日(金)	錦田公民館	８名
第2回	三島南	令和６年 11 月８日(金)	三島市社会福祉会館	８名
	三島北	令和６年 11 月７日(木)	三島市社会福祉会館	４名
	北上	令和６年 11 月 28 日(木)	北上文化プラザ	５名
	中郷	令和６年 11 月 21 日(木)	中郷文化プラザ	６名
	錦田	令和６年 11 月 12 日(火)	錦田公民館	10 名
第3回	三島南	令和７年３月７日(金)	三島市社会福祉会館	６名
	三島北	令和７年３月４日(火)	三島市社会福祉会館	５名
	北上	令和７年２月 28 日(金)	北上文化プラザ	３名
	中郷	令和７年３月 14 日(金)	中郷文化プラザ	７名
	錦田	令和７年３月 21 日(金)	錦田公民館	10 名



（６）ボッチャによる交流の場の開催

いつ来ても良い、いつ帰っても良い、誰が来ても良い「ボッチャを通して気軽に交流できる場所」として、三島市社会福祉会館を会場に「わいわいボッチャ居場所」を実施しました。開始から 3 年が経過し参加人数も徐々に増えています。また、令和 6 年度も三島市とのコラボ企画として「わいわいボッチャ居場所 with みしまるっと体操」を併せて実施しました。

わいわいボッチャ居場所	
日　　付	参加者
令和 6 年 4 月 11 日(木)	11 名
令和 6 年 5 月 9 日(木)	11 名
令和 6 年 6 月 13 日(木)	11 名
令和 6 年 7 月 11 日(木)	10 名
令和 6 年 8 月 8 日(木)	13 名
令和 6 年 9 月 11 日(水)	18 名
令和 6 年 10 月 9 日(水)	9 名
令和 6 年 11 月 11 日(月)	13 名
令和 6 年 12 月 12 日(木)	4 名
令和 7 年 1 月 9 日(木)	8 名
令和 7 年 2 月 13 日(木)	14 名
令和 7 年 3 月 13 日(木)	17 名

わいわいボッチャ居場所 with みしまるっと体操	
日　　付	参加者 （ボッチャのみ）
令和 6 年 4 月 22 日(月)	19 名
令和 6 年 5 月 23 日(木)	23 名
令和 6 年 6 月 27 日(木)	13 名
令和 6 年 7 月 25 日(木)	9 名
令和 6 年 8 月 22 日(木)	11 名
令和 6 年 9 月 25 日(水)	10 名
令和 6 年 10 月 23 日(水)	7 名
令和 6 年 11 月 27 日(水)	6 名
令和 6 年 12 月 26 日(木)	11 名
令和 7 年 1 月 23 日(木)	8 名
令和 7 年 2 月 27 日(木)	13 名
令和 7 年 3 月 27 日(木)	12 名

（７）家族介護体験談を聴く会の開催

介護経験者 2 名の体験談の共有を通して、介護体験の有無を問わず、参加者が心の支えとなる知識や価値観を見つけることを目的に、三島市社会福祉会館を会場に開催しました。

日　　付	参加者
令和 7 年 3 月 17 日(月)	55 名

（８）ケアラーズカフェの開催

家族介護者への支援を推進するために、介護者同士が気軽にあつまり、お互いの悩みを打ち明け、また体験によって得た情報や知識などを交換することができる居場所として、傾聴ボランティア「ハートフルケア・とまり木」と協働し三島市社会福祉会館を会場に「ケアラーズカフェ」を開催しました。

日　　付	参加者
令和６年５月 29 日(水)	３名
令和６年６月 25 日(火)	１名
令和６年７月 29 日(月)	２名
令和６年８月 29 日(木)	１名
令和６年９月 27 日(金)	１名
令和６年 10 月 30 日(水)	１名
令和６年 11 月 26 日(火)	１名
令和６年 12 月 23 日(月)	１名
令和７年１月 30 日(木)	１名
令和７年２月 28 日(金)	１名
令和７年３月 26 日(水)	２名

（９）知って得する買い物講座の開催

令和 5 年度の地域支え合い会議をもとに、多くの方が興味を持つことができる内容を意識して、市内スーパー3 社（イトーヨーカドー三島店、マックスバリュ東海、エッグマート）に依頼をかけ、お得なお買い物情報をお届けする講座を企画しました。多くの方が興味地域住民へ情報を届けるとともに、地域とスーパーがよりつながりを持つことができるよう、講座を開催しました。

日　　付	参加者
令和７年３月７日(金)	44 名

(10) その他、地域福祉推進に向けた取り組み

①地域ケア会議等への参加

開催日	主　　催	会議テーマ
令和７年 ２月 18 日（火）	中郷地区地域包括支援センター	現在の活動、課題について

３　ボランティアセンター事業

（１）ボランティア登録

効果的な情報発信とボランティアコーディネート等に活用するため、ボランティア登録の受付を行いました。

（令和７年３月 31 日現在）

内　　訳		登録数
グループ	高齢者に関わる活動	14 件
	障がい者等に関わる活動	9 件
	児童・子育てに関わる活動	6 件
	災害時に関わる活動	2 件
	環境に関わる活動	16 件
	趣味・特技・資格等を活かした活動	10 件
	その他の活動	10 件
	計	67 件
個　人	傾聴、読み聞かせ、マジック、被災地支援ほか	64 名

（２）ボランティアコーディネート

ボランティアに関する様々な相談に応じるほか、ボランティア登録の受付、活動先のコーディネート・調整などを行いました。

主なコーディネート内容
・市内視覚障がい者を対象とした広報みしま等の点訳・音訳 ・選挙開票時の点字判読者派遣 ・福祉施設等イベント時のボランティア募集・派遣 ・ボランティア活動希望者への活動先のコーディネート ・社会貢献活動に取り組む企業の発掘・支援 ・福祉関係団体が行う活動の周知・協力・呼びかけ　ほか

（３）ボランティア入門講座　折り紙編の開催

ボランティア活動に興味・関心がある方や活動を始めたいと考えている方を対象に、活動のきっかけづくりを目的とした「ボランティア入門講座」を開催しました。

また地域の居場所サロン等における社会資源である「おりひめ隊」に活動の活性化へつなげるため、担い手の養成を行いました。

開 催 日	場　　所	参 加 者
令和６年 12 月４日（水）	三島市社会福祉会館	８名

（４）三島市ボランティア連絡協議会の事務局運営

ボランティア活動の推進や会員相互の交流・連携を深めることに賛同したグループと個人会員から構成される 162 名（団体 10 グループ・個人 3 名）の組織の事務局を担い、定例役員委員会を6回開催し、総会や新春の集いの開催、他市町で活動するボランティアとの交流、フードドライブの活動等の手伝いを行いました。

令和5年度から引き続き、使用済み切手の収集活動を行い静岡県ボランティア協会へ合計 5,285ｇの使用済み切手を寄付し、活動の幅を広げる支援を行いました。また研修会として、三島市ボランティア連絡協議会主催映画「生きる」上映会の開催支援を行いました。そのほか、年間の活動費として助成金150,000円を交付しました。

【主な活動】

実施日	内　　容	参 加 者
令和 6 年 5 月 14 日(火)	令和 6 年度総会及び研修	52 名
令和 7 年 1 月 28 日(火)	新春の集い	60 名
令和 7 年 3 月 18 日(火)	研修／映画「生きる」上映会	62 名

（５）将棋ボランティア「一七の会」の事務局運営

地域で生活している高齢者等と将棋や囲碁の対戦相手をするボランティアとして平成 27 年 11 月 17 日に立ち上げ、希望に応じて在宅や施設等へ訪問し将棋や囲碁の対戦を行っています。以降、当会で事務局を担い活動調整を行っています。

月 2 回(第 2・4 水曜日)の定例会を三島市社会福祉会館にて行い、活動の報告、参加された地域住民やメンバー同士での交流を図っています。

また、従来の活動のほかに世代間交流の一環として将棋・囲碁大会を開催しました。

【一七の会の派遣】

派　遣　先	内　　容	派遣実績
市内デイサービス 3 ヶ所	将棋・囲碁のお相手	42 回

【将棋・囲碁大会の開催】

実施日	内　　容	参加者
令和 6 年 8 月 7 日（水）	夏休み将棋・囲碁大会	19 名
令和 6 年 12 月 25 日（水）	冬休み将棋・囲碁大会	22 名

（６）折り紙ボランティア「おりひめ」の事務局運営

令和元年 11 月 1 日に折り紙を通じたボランティア活動グループとして発足し、月 1 回メンバーで集まり、折り紙をしながら楽しく交流を行い、その活動内容の検討や日程調整を行っています。また、「おりひめ隊」として、居場所やサロン等へ出向き、折り紙を通して地域住民と交流を図るなど、地域福祉の担い手として活動をするためのコーディネート等をしています。

【おりひめ定期活動日】

活 動 日	内　　容	場　　所	参加者
令和 6 年 4 月 19 日(金)	鯉のぼり	三島市社会福祉会館	39 名
令和 6 年 5 月 17 日(金)	傘	三島市社会福祉会館	37 名
令和 6 年 6 月 21 日(金)	七夕飾り	三島市社会福祉会館	27 名
令和 6 年 7 月 19 日(金)	ふきごま、ハートつづり	三島市社会福祉会館	35 名
令和 6 年 8 月 16 日(金)	花火、金魚、かき氷	三島市社会福祉会館	16 名

令和６年９月 20 日(金)	万華鏡	三島市社会福祉会館	26 名
令和６年 10 月 18 日(金)	格子、ふくろう、いちょう、もみじ	三島市社会福祉会館	34 名
令和６年 11 月 15 日(金)	クリスマスツリー	三島市社会福祉会館	29 名
令和６年 12 月 20 日(金)	お正月リース	三島市社会福祉会館	28 名
令和７年１月 17 日(金)	寿鶴、ハート	三島市社会福祉会館	31 名
令和７年２月 21 日(金)	小笠原びな	三島市社会福祉会館	27 名
令和７年３月 21 日(金)	花の器	三島市社会福祉会館	34 名

【おりひめ隊の派遣】

活 動 日	内　　容	派 遣 先	派遣人数
令和６年４月４日 (木)	起き上がりこぼし／かぶと	老人福祉センター	４名
令和６年４月 11 日(木)	起き上がりこぼし／かぶと	老人福祉センター	４名
令和６年４月 16 日(火)	起き上がりこぼし／かぶと	老人福祉センター	５名
令和６年４月 24 日(水)	起き上がりこぼし／かぶと	老人福祉センター	５名
令和６年６月 24 日(月)	七夕かざり	沢地遊和会	２名
令和６年８月２日(金)	ふきごま／化粧箱	かわせみ会	３名
令和６年 12 月３日(火)	お正月リース	歩歩笑サロン	３名
令和６年 12 月９日(月)	トトロ	三島市立北上小学校	４名
令和７年１月 21 日(火)	こま	デイサービス ふれあい富士	４名
令和７年１月 30 日(木)	起き上がりこぼし／ラッパ／かえる／トトロ／はばたく鶴	木曜サロン	４名
令和７年２月６日(木)	起き上がりこぼし／ラッパ／かえる／トトロ／はばたく鶴	木曜サロン	４名
令和７年３月 26 日(水)	かぶと／ランドセル	芙蓉台居場所による居場所	５名

（７）カットボランティアの実施

経済的な事情を抱える方等を対象にボランティアが無料でカットを実施し、対象者の精神的な安定や安心感を得て、その後、生活の向上につながる一助とすることを目的に取り組みました。関係機関への周知、予約の受付、ボランティアへのコーディネート等を行いました。

実施日	場　　所	参加者
令和６年６月 20 日（木）	三島市社会福祉会館	１名
令和６年 11 月 20 日（水）	三島市社会福祉会館	１名

（８）ボランティア活動保険等窓口業務の実施

ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を保障する保険の加入手続き等に関する窓口業務を行いました。

保険種類	内　　容	加入数	保険料総額
ボランティア活動保険	ボランティア活動中の事故によるケガや賠償責任を補償	945 名	351,150 円
ボランティア行事用保険	地域福祉活動等の行事における主催者や参加者のケガ等を補償	199 行事	153,505 円
福祉サービス総合補償	在宅･地域福祉サービス中の活動従事者のケガや団体･グループの賠償責任を補償	５団体	150,064 円
送迎サービス補償	移送・送迎サービス中の交通事故などによる利用者のケガを補償	２団体	7,640 円

※上記加入者への事故対応４件

（９）ボランティアグループ等事業費補助

住民主体による福祉活動の支援及び地域福祉向上に資する為、ボランティアグループが実施する公益的な活動や児童青少年健全育成に取り組む団体が実施する事業について、経費の一部を補助しました。

①ボランティアグループ事業費補助

グループ名	事業名	補助額
三島手話サークルよつば友の会	手話を体験しよう	46,000 円
ハートフルケアとまり木	バリデーション講演会	80,000 円
災害ボランティアコーディネーター三島	令和 6 年度災害ボランティアコーディネーター三島防災講演会	70,000 円
要約筆記サークル「OHP みしま」	聞こえの個別相談	70,000 円
合計 4 団体		266,000 円

②児童青少年健全育成団体事業費補助

グループ名	事業名	補助額
ボーイスカウト伊豆地区	児童青少年の健全育成	60,000 円
ガールスカウト三島地区連絡協議会	スカウト体験集会	22,000 円
三島ジュニアリーダースクラブわかば	わかば事前・事後研修	22,000 円
合計 3 団体		104,000 円

(10) 災害ボランティアの振興

「三島市地域防災計画」において、災害時には市と社会福祉協議会が連携して、災害時のボランティア受付、活動場所の斡旋及び配置調整等を行う災害ボランティアセンターを設置することになっています。

この災害ボランティアセンターの円滑な運営と的確な被災者支援が図れるよう関係団体等と連携を深め、行政及びボランティア団体と平時から互いに顔の見える関係を構築し、活動の情報共有や意見交換等の場を創出することを目的に、「三島市災害ボランティア連絡会」を開催しました。

① 三島市災害ボランティア連絡会

実　施　日
令和 6 年 5 月 15 日(水)、令和 6 年 7 月 17 日(水)、令和 6 年 9 月 18 日(水)、令和 6 年 11 月 20 日(水)、令和 7 年 1 月 15 日(水)、令和 7 年 3 月 19 日(水)

②災害ボランティアセンター運営訓練

開催日	参加者	備　　考
令和 6 年 10 月 6 日(日)	71 名	災害ボランティア活動用資材整備に伴い、指定生活介護事業所えがおを会場に、近隣地区の自治会（富田町、玉川、平田、新谷）に参加を呼びかけ訓練を実施

③災害ボランティアコーディネーター養成講座

開催日	参加者	備　　考
令和 6 年 9 月 14 日(土)	23 名	市内における災害ボランティア受入体制の整備を図るため、ボランティア希望者と被災者ニーズを結び付ける災害ボランティアコーディネーターを養成
令和 6 年 10 月 6 日（日）	23 名	三島市総合防災訓練の一環で、災害ボランティアセンター運営訓練をより実践的な演習として、地域住民と共に実施

④災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修

令和４年度・令和５年度・令和６年度災害ボランティアコーディネーター養成講座受講修了者及び災害ボランティアコーディネーター三島の会員を対象に災害時におけるボランティアセンターの円滑な運営を目指すことと災害ボランティアコーディネーターとして個々のスキルアップや人材確保へつなげていくことを目的に、フォローアップ研修を開催しました。

開催日	参加者	内　容
令和７年 ３月１日(土)	33 名	災害ボランティア活動拠点「ニーズ班」の役割の基礎について

４　福祉教育事業

（１）福祉教育プログラムの実施

地域で生活している障がいのある方や福祉関係のボランティア活動者で構成する講師連絡会を設置し、学校等からの依頼に基づき、福祉教育プログラムを実施しました。

①講師連絡会構成員

選出区分	氏　名	備　考
視覚障がい者（盲導犬ユーザー）	杉山典行	
聴覚障がい者（手話講師）	中川みゆき	
身体障がい者（車椅子ユーザー）	清野一博	
当事者家族	清野佳代子	
ボランティア活動者（点字）	大杉次郎	すぎなの会
ボランティア活動者（要約筆記）	西井菜穂子	OHP みしま

②講師連絡会の開催

講師同士の情報共有を図り、福祉教育事業について複合的かつ効果的に事業を進めていくことを目的に講師連絡会を開催しました。

開 催 日	内　　容	参加者
令和７年 ３月５日(水)	令和６年度　実施報告・状況 令和７年度　福祉教育メニューの検討・意見交換	６名

③福祉教育メニューの作成

福祉教育プログラムの内容を明確化し、より多くの学校等で活用して頂けるように福祉教育メニューを作成して市内小学校 14 校に配布・周知を行いました。

④福祉教育サポーターの育成

福祉教育プログラムの内容の充実化を図り、地域住民と共に子どもたちの学びの場を作り、共に福祉教育事業に取り組むことや地域住民に対しても福祉教育の啓発やボランティアの担い手の育成、ボランティア活動の間口を広げることを目的に福祉教育事業に地域住民と共に取り組みました。

福祉教育サポーターとして、実際に小学校等で体験学習の場で見守りや補助的な立場を担う活動を行いました。

【福祉教育サポーター養成講座の開催】

開催日	内　容	受講者
令和６年５月 30 日(木)	①　福祉教育に取組み・サポーターの役割 ②　模擬授業：小学校での福祉教育の体験	８名

【福祉教育サポーターの登録】

登録更新者数	新規登録者数	合　計
14 名	８名	22 名

【活動実績】

内　　容	活 動 先	活動実績
白杖・アイマスク体験 高齢者疑似体験 車いす体験	沢地小学校、錦田小学校、向山小学校、 中郷小学校、南小学校	11 回

⑤福祉教育プログラムの実施状況

実 施 日	内　　容	対　象
令和 6 年 6 月 5 日 （水）	体験学習（高齢者疑似体験）	沢地小学校 5 年生 40 名
令和 6 年 6 月 12 日（水）	高齢者についての講義	沢地小学校 5 年生 40 名
令和 6 年 6 月 14 日（金）	当事者講師による講話 （視覚障がいについて・盲導犬について）	錦田小学校 4 年生 87 名
令和 6 年 6 月 27 日（木）	体験学習（白杖・アイマスク）	錦田小学校 4 年生 87 名
令和 6 年 7 月 1 日（月）	体験学習（白杖・アイマスク）	沢地小学校 5 年生 40 名
令和 6 年 7 月 2 日（火）	体験学習（高齢者疑似体験）	錦田小学校 4 年生 87 名
令和 6 年 7 月 3 日（水）	体験学習（点字の学習）	沢地小学校 5 年生 40 名
令和 6 年 7 月 10 日（水）	高齢者についての講義	錦田小学校 4 年生 87 名
令和 6 年 7 月 17 日（水）	当事者講師による講話・体験学習 （聴覚障がいについて・盲導犬について）	沢地小学校 5 年生 40 名
令和 6 年 9 月 2 日（月）	体験学習（車いす）	沢地小学校 5 年生 40 名
令和 6 年 9 月 4 日（水）	当事者講師による講話 （車いす利用者の生活について）	沢地小学校 5 年生 40 名
令和 6 年 9 月 9 日（月）	当事者講師による講話・体験学習 （聴覚障がいについて・簡単な手話）	沢地小学校 5 年生 40 名
令和 6 年 9 月 18 日（水）	体験学習（白杖・アイマスク）	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 6 年 9 月 24 日（火）	当事者講師による講話 （視覚障がいについて・盲導犬について）	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 6 年 9 月 30 日（月）	体験学習（点字の学習）	中郷小学校 4 年生 69 名

令和 6 年 10 月 22 日(火)	福祉についての講義	向山小学校 4 年生 91 名
令和 6 年 10 月 23 日(水)	体験学習(車いす)	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 6 年 10 月 28 日(月)	当事者講師による講話 (車いす利用者の生活について)	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 6 年 11 月 6 日(水)	体験学習(高齢者疑似体験)	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 6 年 11 月 14 日(木)	高齢者についての講義	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 6 年 11 月 20 日(水)	当事者講師による講話・体験学習 (聴覚障がいについて・簡単な手話)	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 6 年 11 月 25 日(月)	当事者講師による講話・体験学習 (聴覚障がいについて・筆談と要約筆記)	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 6 年 12 月 3 日(火)	体験学習(白杖・アイマスク)	南小学校 4 年生 81 名
令和 6 年 12 月 4 日(水)	当事者講師による講話・体験学習 (聴覚障がいについて・簡単な手話)	南小学校 4 年生 81 名
令和 6 年 12 月 17 日(火)	体験学習(白杖・アイマスク/車いす/手話/筆談と要約筆記)	中郷小学校 4 年生 69 名
令和 7 年 1 月 23 日(木)	体験学習(点字の学習/白杖・アイマスク)	向山小学校 4 年生 91 名

⑥ふくし映画上映会

福祉的要素を含んだ作品を上映し、より多くの住民に福祉への関心や理解を深めていただき、福祉啓発のために実施しました。

実 施 日	会　　場	内　　容	入場者
令和 6 年 7 月 31 日 (水)	三島市民文化会館 小ホール	「おまえうまそうだな」	350 名

（２）バリアフリー教室の開催

国土交通省静岡運輸支局、三島市、本会の共催で、三島市移動等円滑化構想の基本方針の一つである「こころのバリアフリー」を推進するため、標記教室を開催しました。

開催日	内　　容	対　象
令和６年 10 月 24 日(木)	障がい者講話やバリアフリー体験（バリアフリークイズ、車いす体験、低床バス乗降体験）	西小学校 ４年生 58 名

５　広報啓発事業

（１）社協だより「はつらつ」の発行

社協事業の紹介をはじめ、各種福祉サービスや福祉情報を住民に周知するため、社協広報紙「はつらつ」を年５回発行しました。

発行№	125 号	126 号	127 号	128 号	129 号
発行日	令和６年 ５月１日	令和６年 ７月１日	令和６年 10 月１日	令和６年 12 月１日	令和７年 ２月１日

（２）ホームページの運営

本会の事業活動、各種福祉サービス・情報等を広く紹介すると共に、社協だより「はつらつ」では伝えきれない情報等をよりタイムリーに発信し、市民の皆様に行き届くようホームページの運営に努めました。

（３）社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に寄与された方々を表彰し、感謝の意を表すとともに、福祉意識の高揚を図りました。また、より多くの住民に福祉について考え理解してもらうきっかけづくりとして、記念講演を開催しました。

開催日	会　　場
令和６年 10 月 16 日(水)	三島市民文化会館小ホール

表 彰 式	三島市社会福祉協議会会長表彰 16 名・12 団体 三島市社会福祉協議会会長感謝状 3 団体
記念講演	「楽しく学ぶ　落語で終活」　講師：生島清身 氏

（４）静岡県健康福祉大会及び全国社会福祉大会に係る表彰候補者の推薦

大会名称	推　薦	決　定
静岡県健康福祉大会（R6.10.28）	26 名 4 団体	26 名 4 団体
全国社会福祉大会（R6.11.26）	8 名	5 名

▲静岡県福祉大会へ被表彰者と共に出席しました

（５）児童福祉週間、老人の日・老人週間の啓発及び障がい者週間の啓発協力

児童・高齢者福祉の理念の普及・啓発の為、市内各所にポスターを掲示しました。また、三島市が実施する障がい者週間に合わせて、市内各所にのぼり旗を設置しました。

６　福祉総合相談事業

（１）相談事業の実施状況

住民の暮らしの中のあらゆる相談に応じるとともに、関係機関との連携や福祉サービスにつなげるなど、適切な援助や助言を行い課題解決に向けた取り組みを行うことを目的に本事業を実施しました。

区　分	件数	区　分	件数
生計	569 件	障がい者福祉	29 件
職業	1 件	ボランティア	81 件
住宅	7 件	教育	33 件
家族	5 件	成年後見制度	36 件
医療	1 件	日常生活自立支援事業	19 件
事故	0 件	近隣トラブル	0 件
人権	0 件	悪質業者・消費生活	3 件
結婚・離婚	0 件	自殺志願	0 件
財産・遺言	0 件	ひきこもり	1 件
地域福祉	38 件	ホームレス	0 件
児童福祉	7 件	苦情	1 件
母子父子福祉	5 件	問い合わせ	46 件
高齢者福祉	37 件	その他	52 件
合計　971 件			

７　権利擁護事業

（１）日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行いました。

①相談・援助実績

初回相談	相談援助	合　　計
7 件	1,229 件	1,236 件

【主な相談援助内容】

・福祉サービスの利用等に関する情報提供、相談、利用手続き、支払い

・年金、福祉手当の受領に必要な手続き、預貯金の出し入れに関する援助

・大切な書類や印鑑等の保管ほか

②契約件数等の内訳

区分	新規契約締結件数	終了件数	現在の利用件数
認知症高齢者	4 件	5 件	8 件
知的障がい者	0 件	1 件	7 件
精神障がい者	1 件	0 件	7 件
その他	0 件	0 件	1 件
合　計	5 件	6 件	23 件

・終了は、施設入所 3 件、死亡 2 件、本人申出 1 件。

・契約件数は、令和 7 年 3 月 31 日現在

③生活支援員の配置

生活支援員 14 名と共に連携をしながら利用者に対する援助を行いました。また、生活支援員の資質向上と支援における悩み等に応じるため研修会を実施しました。

開 催 日	内　　容
令和 7 年 3 月 13 日（木）	講義：コミュニケーションの基本、マナーについて 講師：中北薬品株式会社ﾏﾅｰｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ　村松美記 氏

（２）法人後見事業

法人後見事業では、法人として成年後見人等を受任し、認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分でない方が不利益を被らないように、財産管理及び身上監護に関する契約などの法律行為全般を行うとともに、専門職で構成された成年後見運営委員会を設置し、本会の後見業務の指導、適切な後見業務を担保するための会議等を開催しました。

①法人後見受任状況

後見類型	新　規	終　了	現在の受任件数
後見	0 件	0 件	4 件
保佐	1 件	2 件	5 件
補助	0 件	0 件	1 件
後見監督人	1 件	0 件	3 件
合計	2 件	2 件	13 件

②成年後見運営委員会構成員

選出区分	氏　名	所　　属	備　考
法律関係者	原島年央	静岡県弁護士会	委員長
医療関係者	田内美津子	三島市医師会	副委員長
法律関係者	新間いづみ	成年後見ｾﾝﾀｰﾘｰｶﾞﾙｻﾎﾟｰﾄ静岡支部	
福祉関係者	岩田正徳	静岡県社会福祉士会	
行政関係者	青木聡	三島市障がい福祉課	
その他	塩川健太	三島市障がいとくらしを支える協議会	

③成年後見運営委員会の開催状況

開催日	主な内容
令和 6 年 12 月 23 日（月）	市民後見人の受任ケースについて

④法人後見支援員の配置

市民後見人研修修了者へ必要な知識や技術など実務経験を積める場の提供と併せて、法人後見受任ケースの円滑な支援ができるように、法人後見支援員 5 名を配置し支援を行いました。

（３）市民後見人育成事業

①事例で学ぶ！成年後見制度の開催

社会貢献に意欲と熱意のある一般市民の発掘及び市民後見人養成研修修了者等のフォローアップを目的に、成年後見制度について観念的な机上の学問ではなく、各講師の事例を追体験するかのごとく知ることで、様々な場面においてどう動くべきかという実務面を重視した講座を全 10 回開催しました。

開催日時	内　　容	講　　師	参加者
11／7（木） 19：00～20：30	地域に根差した成年後見活動の実践	一般社団法人しんきん成年後見ｻﾎﾟｰﾄ沼津	16 名
11／16（土） 13：30～15：00	身体障がい者の方の成年後見制度利用ケースについて	社会福祉士 権守恭子 氏	17 名
11／21（木） 19：00～20：30	対象者とその家族の支援について	司法書士 鈴木信宏 氏	19 名
12／5（木） 19：00～20：30	精神障がいの方の成年後見制度利用ケースについて	精神保健福祉士 山口雅弘 氏	21 名
12／19（木） 19：00～20：30	二軒分の建物に物が溢れている…捨てられない家族への支援	行政書士 武田典子 氏	18 名
1／23（木） 19：00～20：30	入院中、高齢者への成年後見制度利用ケースについて	司法書士 福嶋英俊 氏	18 名
2／6（木） 19：00～20：30	鬼電に脅かされた日々…身寄りのいない独居高齢者への支援	社会福祉士 齋藤都子 氏	17 名
2／20（木） 19：00～20：30	精神障がい者の在宅支援 後見人は一人ではない	社会福祉士 成川いずみ 氏	22 名

3／6（木） 19：00～20：30	対象者との関係性の構築について	司法書士 井上尚人 氏	17 名
3／22（土） 13：30～15：00	県内初の市民後見人！市民後見人の活動事例	富士市市民後見人 小泉美津江 氏	24 名

※会場は全て三島市社会福祉会館

②笑って学ぶ！成年後見制度講演会の開催

市民後見人の普及啓発を目的に、市民後見人漫才師「青空一風・千風」氏を招いて、成年後見制度及び市民後見人について漫才で学ぶ講演会を三島市民文化会館小ホールで開催しました。

開催日時	内　　容	講　　師	参加者
8／22（木） 13：30～15：30	漫才「笑って学ぶ成年後見制度」及び青空一風氏と揚野江利子弁護士による対談	青空一風・千風 氏 揚野江利子 氏	131 名

（４）三島市成年後見支援センター（中核機関）の運営

成年後見制度の利用の促進に関する法律（平成 28 年法律第 29 号）第 14 条第 1 項の規定に基づく中核的な機関として、同制度の利用の促進を図るため下記の業務を行いました。

①広報機能

周りの人の気づきを向上させ、成年後見制度の利用が必要な人の早期発見につなげるために、判断能力の低下に伴って発生する問題や成年後見制度のメリット等、制度の正しい理解を促し、本当に必要な方に届くように広報啓発を行ました。

実施項目	備　　考
三島市成年後見支援センター・成年後見制度のカード・申立に関する必要書類及び費用の一覧	郵便局、三島信用金庫、静岡銀行、静岡中央銀行、市役所各課、関係機関等　【1800 部以上配布】
動画撮影（静岡県社会福祉協議会・SBS プロモーション）	市民後見人の活動についての取材・撮影　市民後見人 2 名

会議・勉強会・研修等の対応	令和６年度三島市障がいとくらしを支える協議会 第１回　4/22、第２回　7/22、第３回　10/28
	アーチ　権利擁護に関する課題抽出【三島市内】 　第１回 4/3、第２回 4/17、第３回 5/8 基幹相談支援センター、当事者団体、医療機関、相談支援事業所、社会福祉協議会
	地域生活支援拠点等事業　「みしまるネットミーティング」事例検討、グループワーク　7/17（水） 三島市社会福祉会館大会議室　参加者 60 名
	令和６年度静岡県成年後見制度利用促進協議会 9/24　静岡県東部②職能団体及び各自治体・社協からの報告 （1）法テラスの利用状況について （2）受任調整・権利擁護支援チーム形成について （3）市民後見人の育成及び活動促進について

②相談機能

相談しやすい環境を整備するために、センター職員が対応する一般相談窓口を常設するとともに、専門職団体に協力を依頼し、専門職による専門相談窓口を定期的に開催しました。※専門相談窓口は予約制（1 件 30 分まで）

ア．一般相談窓口／月曜日～金曜日 8：30～17：15

新規相談件数	継続相談件数
96 件	841 件

イ．専門相談窓口／毎月第 1 水曜日 13：00～16：00（弁護士会対応）
毎月第 3 水曜日 13：30～16：30（リーガルサポート対応）

弁護士会対応件数	リーガルサポート対応件数
16 件	7 件

③成年後見制度利用促進機能

弁護士、司法書士、社会福祉士等で組織するコーディネート委員会を設置し、本人が成年後見制度を利用した時に、メリットを感じられるように状況に合わせた支援方針や成年後見人等候補者を検討・マッチングを行い、本人にとっても後見人等にとっても安心して制度が利用できるように支援しました。また、本人の状況に応じて社会資源等の制度以外の利用についても提案し、地域で暮らせる仕組みづくりを行うほか、関係団体との連携と情報共有を推進するため各種会議等 を開催しました。

ア．コーディネート委員

選出区分	氏　　名	備　　考
弁護士	揚野江利子	委員長

司法書士	鈴木信宏	副委員長
社会福祉士	権守恭子	令和６年４月１日～
精神保健福祉士	伊藤田恵子	令和６年５月 10 日～
行政書士	武田典子	
行政市長申立担当者	青木聡	
行政市長申立担当者	中村純	

イ．コーディネート委員会の開催状況

日　　時	ケース検討の内訳	
	継続ケース	新規ケース
令和６年４月 12 日（金）	６件	４件
令和６年５月 10 日（金）	９件	２件
令和６年６月 14 日（金）	９件	３件
令和６年７月 12 日（金）	８件	３件
令和６年８月９日（金）	14 件	３件
令和６年９月 13 日（金）	12 件	１件
令和６年 10 月 11 日（金）	10 件	２件
令和６年 11 月８日（金）	10 件	４件
令和６年 12 月 13 日（金）	10 件	４件
令和７年１月 10 日（金）	９件	３件
令和７年２月 14 日（金）	８件	３件
令和７年３月 14 日（金）	９件	２件

ウ．三島市成年後見制度利用促進連携協議会開催状況

開催日	内　　容	備　　考
令和７年３月４日(火)	センターの令和６年度事業報告、令和７年度事業計画、関係機関との情報交換	委員 19 名出席

④後見人支援機能

「後見人を１人ぼっちにしない」を目標とし、後見人等が一人で悩みを抱えないようにするために、チーム支援を行っていくとともに、気軽に相談できる環境や仲間づくりを推進しました。

実施項目	備　　考
成年後見人等支援	96 件（ケース会議開催、ケース会議参加、連携対応等）

市民後見人交流会	4回：3ヶ月に1度定期開催（5月、8月、11月、2月）
地域ケア個別会議等	25件（会議等の開催・出席）

8　セーフティーネット事業

（1）生活福祉資金貸付

低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行い、経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるように支援しました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方々に対する貸付事業として実施した緊急小口資金特例貸付、総合支援資金特例貸付の返済に対するフォローアップ支援を行いました。

※貸付の可否や債券管理等は実施主体である静岡県社会福祉協議会となります。

①相談活動状況

項　　目	件　数
貸付相談	697件
償還相談	117件
民生委員との連絡調整	21件
連携（連絡調整）した機関（生活支援センター、福祉事務所ほか）	68件
合　　計	903件

②新規貸付件数

項　　目	申請件数	うち決定件数	貸付決定額
福祉資金	0件	0件	0円
教育支援資金	8件	8件	4,276,000円
不動産担保型生活資金	0件	0件	0円
緊急小口資金	18件	9件	437,000円
総合支援資金	0件	0件	0円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0円
合　　計	26件	17件	4,713,000円

（２）生活一時扶助金・食糧支援

解雇や病気等の理由により、初回満額給料日や年金支給日等までに生計の維持が困難な方への支援として、年 1 回 10,000 円を限度とする生活一時扶助金の交付、フードバンクふじのくにより取り寄せた食糧や住民から戴いた食糧の提供を実施しました。

生活一時扶助金	食糧支援
18 件（交付総額 180,000 円）	173 件

（３）歳末見舞金の贈呈

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする世帯が地域で安心して暮らすことができるよう、市民から寄せられた歳末たすけあい募金を活用し見舞金の贈呈を通して支援しました。※対象は、令和 6 年 10 月 1 日現在、三島市の住民基本台帳に登録されている住民税非課税世帯で、担当地区の民生委員・児童委員の支援（継続的な関り等）を必要としている下記のいずれかに該当する世帯。（生活保護は除く）

世帯区分	件数	見舞金額	備　考
要介護者のいる世帯	7 件	91,000 円	見舞金額は単身世帯 8,000 円。世帯員が 1 人増えるごと 5,000 円を加算し算出。
ひとり親世帯	13 件	244,000 円	
障がい児・者のいる世帯	34 件	422,000 円	
ひとり暮らし高齢者世帯	65 件	520,000 円	
合　計	119 件	1,277,000 円	

（４）歳末たすけあい地域福祉活動助成事業

歳末たすけあい募金を活用し、年末年始の時期に「住民の誰もが参加できる地域多世代交流」や「福祉ニーズを持つ世帯へ顔つなぎや安否確認を目的とした配食等の活動」を行う団体を公募し、その事業費を助成しました。

団体名	事業名	助成額
コスモスの会	クリスマス会	30,000 円
スマイル bosai らぼ	子どもサンタ大作戦	20,000 円

９　指定事業所の運営

（１）介護保険事業所及び障がい福祉サービス事業所の運営

利用者本位を基本とし、サービスの質の向上に努めながら住み慣れた地域で自分らしく生活できるように、介護保険法に基づく「居宅介護支援」・「訪問介護」のサービスと介護予防・日常生活支援総合事業の「訪問型(独自/定率)」・「訪問型サービスＡ」のサービスを、また、障がい者総合支援法に基づく「居宅介護」・「重度訪問介護」のサービスを提供しました。

① 従事者数内訳（令和７年３月 31 日現在）

職　　種	常　勤	非常勤	登　録	計
介護支援専門員	２名	２名	０名	４名
ホームヘルパー	２名	６名	０名	８名
合　　計	４名	８名	０名	12 名

② 介護保険事業等収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
訪問介護	244 件	11,391,989 円	1,364,397 円	12,756,386 円
訪問介護公費分	12 件	54,284 円		54,284 円
訪問型(独自)	185 件	4,300,192 円	477,868 円	4,778,060 円
訪問型(独自)公費分	0 件			0 円
居宅介護支援	1,036 件	17,003,945 円		17,003,945 円
居宅介護支援公費分	0 件			0 円
予防計画作成	449 件	2,053,455 円		2,053,455 円
合計	1,926 件	34,803,865 円	1,842,265 円	36,646,130 円

③ 障がい福祉サービス事業収入内訳

サービス名	件数	保険給付費	利用者負担額	計
居宅介護	149 件	7,132,880 円	38,533 円	7,171,413 円
重度訪問介護	0 件			0 円
合計	149 件	7,132,880 円	38,533 円	7,171,413 円

（２）障がい者通所施設の運営

利用者に様々な生きがいを提供できるように努めるとともに、可能性を広げる支援の充実を目指し、生活介護事業所２箇所及び就労継続支援Ｂ型事業所１箇所を運営しました。

①運営施設の概要

ア．指定生活介護事業所えがお(所在地:新谷 190-2　定員：40 名)

作業内容	自主作業	クッキー・パウンドケーキ作り、ジャム作り、アルミ缶・古紙リサイクル回収、縫製品、紙すき、ビーズ製品ほか
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、自立に向けた掃除・洗濯・買い物等の支援、創作活動、調理実習、健康支援、身体機能の維持・向上のための支援ほか
	その他	クリスマス会、防災訓練、音楽療法、運動療法、地域清掃ほか

イ．指定就労継続支援Ｂ型事業所さわじ作業所(所在地:沢地 246-11 定員：20 名)

作業内容	自主作業	木工製品、防災製品(黄色いハンカチ)、アルミ缶・古紙リサイクル回収、缶バッジ、共同店舗運営(すてっぷ)、レーザー加工・UV プリンター加工製品、名入れ等作業ほか
	下請作業	清掃作業(保健センター等)、バンド巻、軽作業、封入作業、近隣観光施設用製品作り
生活指導内容	就労訓練	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、作業に必要な技能・接遇などの訓練、買い物訓練、余暇支援、健康支援ほか
	その他	防災訓練、社会見学、地域交流祭り、調理実習、地域の小学校・幼稚園との交流、音楽療法、絵画療法

ウ．指定生活介護事業所おんすいち(所在地:富田町 3-19　定員：20 名)

作業内容	自主作業	ビーズ製品(きらきらバンド・ブレスレット・携帯ストラップ)、縫製品、ステンシル製品、アルミ缶・古紙リサイクル回収、クッキー
生活指導内容	日常生活支援	基本生活習慣(食事・排泄・歯磨き・着脱等)の支援、調理実習、創作活動、健康支援、身体能力維持・向上(スポーツ・プール・歩行訓練等)ほか
	その他	防災訓練、工場見学、避難所体験、買物訓練、希望外出、手話、音楽療法、詩吟、地域交流ほか

②年代別利用者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
20 歳未満	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
20～29 歳	9 名	6 名	4 名	1 名	1 名	1 名	22 名
30～39 歳	6 名	3 名	2 名	4 名	7 名	7 名	29 名
40～49 歳	2 名	6 名	3 名	2 名	3 名	0 名	16 名
50～59 歳	2 名	1 名	4 名	3 名	2 名	0 名	12 名
60 歳以上	1 名	1 名	2 名	0 名	0 名	0 名	4 名
合計	20 名	17 名	15 名	10 名	13 名	8 名	83 名
	37 名		25 名		21 名		

③障がい別利用者数（令和 7 年 3 月 31 日現在）

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち		合計
	男	女	男	女	男	女	
知的障がい	6 名	10 名	13 名	10 名	12 名	7 名	58 名
身体障がい	1 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	2 名
重複障がい	13 名	7 名	1 名	0 名	1 名	1 名	23 名
合計	20 名	17 名	15 名	10 名	13 名	8 名	83 名

④開所日数及び利用者数

区分	えがお		さわじ作業所		おんすいち	
	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数	開所日数	利用者数
4 月	21 日	38 名	21 日	26 名	21 日	21 名
5 月	21 日	37 名	21 日	26 名	21 日	21 名
6 月	20 日	37 名	20 日	26 名	20 日	21 名
7 月	22 日	37 名	22 日	26 名	22 日	21 名
8 月	20 日	37 名	20 日	26 名	20 日	21 名
9 月	19 日	37 名	19 日	25 名	19 日	21 名
10 月	22 日	37 名	23 日	25 名	22 日	21 名
11 月	20 日	37 名	20 日	25 名	20 日	21 名
12 月	19 日	37 名	19 日	25 名	19 日	21 名
1 月	19 日	37 名	19 日	25 名	19 日	21 名

2 月	18 日	37 名	18 日	25 名	18 日	21 名
3 月	19 日	37 名	19 日	25 名	19 日	21 名
合計	240 日	445 名	241 日	305 名	240 日	252 名

⑤利用者工賃概要

区分	当年度		前年度	
	総額	1 人当たり/月	総額	1 人当たり/月
えがお	974,140 円	2,194 円	731,519 円	1,515 円
さわじ作業所	3,901,690 円	14,515 円	5,053,141 円	18,229 円
おんすいち	415,060 円	1,647 円	592,253 円	2,243 円

※ さわじ作業所については、前年度から就労継続支援Ｂ型事業所用の算定方式を採用しています。

平均工賃月額＝年間工賃支払総額÷(年間延べ利用者数÷年間開所日数)÷12

⑥障がい福祉サービス事業収入内訳

施設名	サービス名	件数	保険給付費
えがお	生活介護(通所)	440 件	73,006,086 円
さわじ作業所	就労継続支援Ｂ型(通所)	295 件	45,250,747 円
おんすいち	生活介護(通所)	252 件	39,736,403 円
合　　計		987 件	157,993,236 円

１０　受託施設の運営

（１）社会福祉会館の運営（指定管理）

三島市社会福祉会館は、社会福祉事業の振興と市民一人ひとりが福祉活動への関心を深めその育成発展を図るために昭和 49 年 7 月に建設されました。

平成 18 年度以降、三島市から指定管理者として受託し、施設の適切な管理と運営に努めています。

各種申請手続きの簡素化・デジタル化を推進するとともに、モニタリング（アンケート調査）や窓口対応等で皆さまから頂きましたご意見や感想を反映し、市民の福祉活動の拠点として、より親しまれる、使い勝手の良い施設となるよう、引き続き努めてまいります。

令和５年度には、新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行されましたが、引き続き新型コロナウイルス感染予防のため、貸室の換気や手指消毒の徹底をお願いするなど、感染防止に努めました。

① 開館日数及び年間利用の状況

利用種別	当年度		前年度	
	開館日数 339 日 （1 日平均 60 人）		開館日数 344 日 （1 日平均 56 人）	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
民生委員関係	83 回	1,174 人	88 回	1,210 人
身体障がい者関係	444 回	6,565 人	479 回	5,982 人
老人福祉関係	123 回	2,054 人	101 回	1,745 人
児童福祉関係	4 回	93 人	5 回	107 人
更生保護関係	110 回	1,257 人	128 回	1,515 人
社会福祉協議会関係	487 回	4,947 人	505 回	4,680 人
その他	152 回	4,420 人	181 回	4,220 人
合　　計	1,403 回	20,510 人	1,487 回	19,459 人

② 各部屋の利用状況

部屋名	当年度		前年度	
	利用回数	利用率	利用回数	利用率
和室	52 回	5.1%	66 回	6.4%
第 2 会議室	243 回	23.9%	274 回	26.6%
ボランティアセンター	87 回	8.6%	99 回	9.6%
第 1 会議室	276 回	27.1%	312 回	30.2%
訓練室	215 回	21.1%	231 回	22.4%
大会議室	530 回	52.1%	505 回	48.9%
合　　計	1,403 回	23.0%	1,487 回	24.0%

（２）老人福祉センターの運営（指定管理）

三島市老人福祉センター（愛称：いきいきシニア・ふれあいセンター）は、市内のお年寄りの皆さんに対して、各種相談対応を行うとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの場を提供するため、昭和 59 年 4 月に設置されました。

平成 18 年度以降、三島市から指定管理者として受託し、施設の適切な管理と運営に努めています。

シニアクラブとの連携・協力をはじめ、各種講座・教室等を開催するなど、利用者が健康で明るく、生きがいのある生活を送って頂けるよう、利用の促進を図っています。

令和 5 年度には、新型コロナウイルス感染症が５類感染症に移行されましたが、令和 6 年度も引き続き感染対策を行い、コロナ以前の人数に戻りつつある利用者に対応した施設運営に努めました。

① 開館日数及び年間利用の状況

区　　分	当　年　度			前　年　度		
	開館日数 292 日、1 日平均 182 人			開館日数 292 日、1 日平均 181 人		
	男	女	計	男	女	計
老人クラブ	1,189	1,807	2,996	1,118	1,710	2,828
その他団体	281	1,809	2,090	356	1,558	1,914
身障福祉会	114	130	244	121	125	246
個人利用	24,355	23,548	47,903	24,803	22,962	47,765
合　　計	25,939	27,294	53,233	26,398	26,355	52,753

② 講座・活動等

種　　類	内　　容	実施回数	受講・参加者数
健康・教養講座	折り紙教室	5 回	256 人
	手遊び	3 回	84 人
	チアダンス	1 回	39 人
	脳いきいき音楽教室	5 回	330 人
	オカリナ	5 回	288 人
	ハープ	1 回	90 人
	三島マジック	5 回	306 人
	人生会議	5 回	319 人
	ツボ押し体操	5 回	298 人
	生きがいづくり	4 回	260 人
	住み慣れた地域でくらしつづけるために	1 回	60 人
	フラダンス	3 回	243 人
生活安全講座	防犯講習	2 回	123 人
	交通安全	2 回	113 人
	地震発生時の行動	5 回	305 人
脳いきいきクラブ	習字同好会	24 回	266 人
	グラウンドゴルフ	85 回	421 人
	脳トレ・サークル	50 回	861 人
	手話教室	11 回	51 人

	ウクレレ	34 回	140 人
	ハーモニカ	13 回	47 人
	フラダンス	14 回	97 人
	囲碁	5 回	10 人
	将棋	51 回	102 人
	スマホ講座	11 回	120 人
相談事業	健康サロン	67 回	1,030 人
	健康相談	随時	1,221 人
合　　計		416 回	7,480 人

１１　その他の事業

（１）三島市共同募金委員会としての共同募金業務

平成 15 年に社会福祉法人静岡県共同募金会と三島市社会福祉協議会の間に取り交わされた事務申し立てに従い、三島市共同募金委員会の事務を担い、各種募金活動や運営委員会の開催などを実施しました。

【令和 6 年度実績額】

赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
7,963,323 円	2,420,354 円

（２）助成事業

下記団体が実施する事業を助成しました。

団体名称	事　業　名	助成額
三島市小中学校連合修学旅行団体	準要保護世帯児童への修学旅行費用の助成 （小学校 6 年生　57 件　5,000 円/件）	285,000 円
三島市小中学校修学旅行団体	準要保護世帯生徒への修学旅行費用の助成 （中学校 3 年生　49 件　7,000 円/件）	343,000 円
三島市子ども会連合会	アウトリーダー講習会	100,000 円
	子ども会フェスティバル	63,000 円
三島市民生委員児童委員協議会	福祉活動に関する事業	412,000 円
	広報紙「ぬくもり」の発行	100,000 円

三島市民間社会福祉施設協議会	民間社会福祉施設職員の質の向上	34,795 円
三島市遺族会	戦没者等の慰霊・参拝事業	80,000 円
三島地区更生保護女性会	犯罪や非行の無い明るい社会を目指す	17,000 円
三島地区保護司会	社会を明るくする運動	160,000 円
人権擁護委員会	人権啓発活動	18,000 円
合計 9 団体		1,612,795 円

（３）福祉車両・車椅子・介護補聴器の貸出事業

在宅の外出困難な高齢者及び障がい者等の生活圏拡大と社会参加を支援し、日常生活の向上を図ることを目的に実施しました。

福祉車両貸出	車椅子貸出
84 件	208 件

（４）生きがい教室の運営

介護予防事業の一環として、市の委託を受けて市立西小学校、東小学校、南小学校の余裕教室 3 箇所に「生きがい教室」を開設。家庭にとじこもりがちな高齢者に交流の場を提供し、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることを予防するため、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する中で 1 日の利用人員の制限を徐々に緩和してサービスを提供しました。

①利用状況

	西小 生きがい教室	東小 生きがい教室	南小 生きがい教室	合計
開所日数	228 日	229 日	228 日	685 日
延べ利用者数	3,759 人	3,987 人	4,015 人	11,761 人
平均利用者数	16.5 人/日	17.4 人/日	17.6 人/日	17.2 人/日

②介護予防普及啓発事業

新型コロナウイルス感染防止対策をとる中で、下記のとおり介護予防普及啓発事業を実施しました。

介護予防教室の実施状況

実施教室	実施日	実施内容	講　師
東小学校生きがい教室	令和６年４月 23 日	音楽療法	竹内惠美子
	５月 13 日	脳トレ	諏訪部直美
	６月 27 日	折り紙	日吉弘子
	７月 23 日	音楽療法	竹内惠美子
	８月２日	カード作り	櫻井永子
	９月 24 日	音楽療法	竹内惠美子
	10 月１日	音楽療法	竹内惠美子
	11 月 27 日	健康体操	秋津典子
	12 月 24 日	音楽療法	竹内惠美子
	令和７年１月 15 日	茶道	土田文子
	２月 25 日	音楽療法	竹内惠美子
	３月 11 日	ツボ押し	鶴橋春子
南小学校生きがい教室	令和６年５月 21 日	運動指導	眞野知美
	７月２日	運動指導	眞野知美
	９月４日	カード作り	櫻井永子
	９月 17 日	運動指導	眞野知美
	10 月 10 日	脳トレ	諏訪部直美
	10 月 29 日	運動指導	眞野知美
	11 月 18 日	絵手紙	山本洋子
	11 月 19 日	運動指導	眞野知美
	12 月６日	手話	土屋美代子
	12 月９日	練り切り	石渡由希子
	12 月 17 日	運動指導	眞野知美
	令和７年１月 22 日	ヨガ教室	池田　綾
西小学校生きがい教室	令和６年６月 14 日	脳トレ	諏訪部直美
	６月 17 日	認知症予防	飯田喜一
	７月９日	押絵	田中杳子
	７月 18 日	折り紙	日吉弘子
	７月 24 日	音楽療法	大竹久美子
	８月６日	音楽療法	大竹久美子
	12 月 11 日	音楽療法	大竹久美子
	令和７年１月 15 日	脳トレ	諏訪部直美
	２月 26 日	音楽療法	大竹久美子
	３月 19 日	音楽療法	大竹久美子
	３月 26 日	音楽療法	大竹久美子

（５）高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業

市営加茂住宅Ａ棟で実施している「高齢者世話付住宅(令和 7 年 3 月 31 日現在 15 世帯 18 名居住)」に対して 3 名の生活援助員を配置し、2 交代制のシフト勤務で居住者に対する生活指導及び相談を充実するとともに、安否確認、一時的な家事援助などの生活支援を実施しました。

事業報告附属明細書

該当事項ありません。